

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	視能訓練士学科3年制		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	視能矯正学各論V		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	3年制 3年生		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	芝田順子	実務経験とその関連資格	1995年視能訓練士資格取得。急性期医療を担う一般病院で7年勤務。一般眼科クリニックで11年勤務。現在の眼科勤務3年目。公的機関の健診兼務18年目。			
《授業科目における学習内容》						
神経眼科学を中心に国家試験や臨床に対応できる力を身につける。①神経伝達経路、対光反射と視覚伝導路を学び瞳孔異常疾患を理解する。②眼球運動(核上性、核下性)、眼球運動障害にかかわる症候群を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験80% 授業内課題取り組み20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
視能学第2版/文光堂 視能矯正学改訂版第3版/金原出版						
《授業外における学習方法》						
国家試験過去問題、国家試験模擬問題を授業内で取り組む。時間内で終了できないこともあるので復習は必須。						
《履修に当たっての留意点》						
レジュメにそって教科書から答えを導きだしながら各症例の特徴を覚える。暗記項目も多いので各回の課題は必ず取り組んでほしい。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	自律神経の神経経路を復習、覚える。	教科書 配布教材	視能学P38～P39予習	
		各コマにおける授業予定	神経眼科とは 神経の構造・作用			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	対光反射経路を理解する。	教科書 配布教材	視能学P42図対光反射経路確認しておく	
		各コマにおける授業予定	対光反射と視覚伝導路①			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	Swinging flash light testを理解する。	教科書 配布教材	視能学P294相対的瞳孔求心路障害の検出読んでおく	
		各コマにおける授業予定	対光反射と視覚伝導路②			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策問題に取り組み対光反射異常を理解する。	教科書 配布教材	視能学P288瞳孔の異常の診断チャート確認しておく	
		各コマにおける授業予定	瞳孔の異常を伴う疾患			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	瞳孔の異常疾患を理解する。各論。	教科書 配布教材	視能学P290～P293読んでおく	
		各コマにおける授業予定	Adie症候群、Argyll Robertson瞳孔			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	Horner症候群の点眼試験を理解する。	教科書 配布教材	視能学P293表2Horner症候群点眼試験確認しておく
		各コマにおける授業予定	Horner症候群		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	眼球運動の神経伝達経路を理解する。	教科書 配布教材	視能学P30～P37読んでおく
		各コマにおける授業予定	眼球運動、脳幹部解剖		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	水平注視経路の障害を伴う疾患、症候群を理解する。	教科書 配布教材	視能学P36眼球運動神経核と外眼筋復習
		各コマにおける授業予定	核上性眼球運動障害 水平注視経路と障害		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	核上性眼球運動障害 垂直注視経路の障害を伴う疾患、症候群を理解する。	教科書 配布教材	配布教材の注視経路復習P295～P301読んでおく
		各コマにおける授業予定	垂直注視経路と障害		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	核下性眼球運動障害、症候群を理解する。	教科書 配布教材	配布教材の核下性眼球運動障害表を完成させる
		各コマにおける授業予定	核下性眼球運動障害		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験対策問題に取り組み核上性、核下性眼球運動障害を理解する。	教科書 配布教材	配布問題の復習
		各コマにおける授業予定	核上性、核下性眼球運動障害まとめ		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	視神経炎、視神経症、うっ血乳頭について学習する。	教科書 配布教材	視能学P302～P307読んでおく
		各コマにおける授業予定	視神経疾患①		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	国家試験模擬問題に取り組み視神経疾患を理解する。	教科書 配布教材	配布問題の復習
		各コマにおける授業予定	視神経疾患②		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	視路障害と視路の関係を理解する。	教科書 配布教材	視能学P307～P310読んでおく
		各コマにおける授業予定	視路障害と視野		
第15回		授業を通じての到達目標	眼振について 神経眼科まとめ 国家試験模擬問題に取り組み。	教科書 配布教材	視能学P440～P446読んでおく
		各コマにおける授業予定	眼振 まとめ		